



綱元講習会

八月三十日(水) 八尾プリズムホール

今年も八尾プリズムホールさん全面協力のもと、綱元講習会を行うことができました。新人6名、協力会社の方達6名の総勢12名が参加しました。

基本的な綱元の構造からはじまり、実際に綱を握って、バトンを昇降させる操作時は皆さん、緊張の面持ちでした。本番中に曲合わせで行うのが一番緊張し、舞台転換は翻味です。実際にツアーで使用している曲に合わせて装飾幕を決められた秒数で降ろして行く実践体験は空気がもリアルで非常に学びが多い講習になったのではないのでしょうか。大会場でのコンサートも増えていますが、各地で行われるホールツアーもコロナ禍以降、急増しています。安全を確保するための講習を今後も続けていきますので次回のご参加お待ちしております。



受講した新入社員感想

★今回初めて綱元の操作をさせていただきました。綱を引く時の力の入れ方、操作手順、バトン側とシズ側の重さのバランスなど、それぞれの感覚を掴むことがとても難しく、その理解不足が後に大事故につながるということを実感しました。一つ一つ理解して操作することの大切さを改めて感じ、この綱元講習で学んだことを忘れずにこれからも安全な作業を心掛けていきたいと思えます。

★今回の講習で吊り物の重量次第で綱元の操作が大きく違うことを学び、今後装飾を考える際には、吊る物の重量をしっかりと確認しながら図面を作成していくと思いました。また看板をデザインさせて頂いたのですが、パネルの繋ぎ方やワイヤーの吊り点など細かな工程にもデザインに影響する部分があることを学び、現場で施工して下さっている方々の力あつての仕事であるということを実感しました。講習会に参加した上で、仕組みを理解してデザインすることが施工する面での安全やデザインをプラン通りに作れる安心に繋がるのだと思います。

熱中症対策2023 @ 野外現場

年々上がり続ける気温。日本の年平均気温は過去100年間で1.30℃も上昇しています。大雨や台風などの気象災害や熱中症、熱射病などの健康被害など、我々は大きな『影響』を受けている一方でこの気候変動に『適応』していくしかありません。今年の夏も野外フェスが多く開催され、炎天下での作業を余儀なくされます。そこで安全衛生向上委員会・大阪では今年より自主的な水分補給、体の冷却を1時間に5分程度もうける『クーリングタイム』を推奨しています。意識をしないと数時間あっという間にすぎてしまいますが、その時点で熱中症になっては手遅れです。現場へ入られる方に夏現場の対策を聞くと、十分に睡眠をとり、体調が悪い日は無理をしない、前日のお酒も極力控えて脱水症状にならないように気をつけている、とのことでした。また、現場に“塩昆布”を持ち込んで塩分をとっていると見せてくれました。今年はコンビニで“塩昆布”が売り切れているようです。水分補給もスポーツ飲料だとエネルギーチャージにもなります。まだまだ9月も暑い日が続きますが、引き続き熱中症にお気をつけください。



熱中症対策

作業1時間ごとに
『クーリングタイム』
5分間休憩

カラーコーン 置いて危険予知

購入したカラーコーンを使用してステージからの落下防止対策を行っています。高さのあるところでは単管手すりも設けることで、より安全に作業が行えるようにしています。



低圧電気取扱特別教育 告知

日時：令和5年9月26日(火)
午前9時30分より(7時間)
場所：東大阪事業所3階会議室
講師：資材管理課 秋山輝輝
主催：安全衛生向上委員会

安全衛生法により、事業者は労働者に電気系統業務をさせる場合は特別教育をしなければいけません。どうしてか？それは感電する危険性があるからです。「低圧電気取扱特別教育」を受けることで低圧電気取扱者として認められ、当社の現場で充電回路が露出している開閉器の操作業務に従事できます。また、電気を原因とした労働災害を防止することが目的です。皆さん進んで参加するなど安全で安心な労働環境を目指しましょう。



※教育区分：労働安全衛生法・労働安全衛生規則等に基づく特別教育
受講者には修了証を発行します。

